



びえいフーズ農作物情報

09年8月号

びえいフーズ株式会社
販売課

■ 天候概要

7月後半はほとんど毎日雨天で、一日の最高気温は25℃前後で平年よりやや低め、日照時間は1時間に満たない日が多く、「長雨、低温、日照不足」の傾向が顕著でした。7月末から8月上旬にかけては天候は持ち直し、日中30℃近くまでになる日もありました。しかし、圃場の土はたっぷり水分を含み、ぬかるむためしばらくトラクターが入れず、晴れ間に作業が重なるので防除や収穫作業が思うように進んでいません。今後好天が続けば持ち直す可能性もありますが、病気や害虫の大量発生に注意が必要で、予断を許さない状況です。また、品質低下も予想されます。

いんげん



例年より1週間以上遅れて収穫が徐々に始まった。
一つの株のなかでも、十分に育ったものとまだ細いものとのばらつきが大きく、収穫のタイミングが非常に難しい。
過熟は避けたいことと、収穫開始が遅れたことで、今期の収量低下は必至と思われる。
病気や害虫による品質低下も懸念される。

馬鈴薯 / スイートコーン



(左)馬鈴薯は平年に近い生育状況。枯凋が始まった。(右)スイートコーンは背丈ほど(160～170cm)に成長した。実が生ってきているが位置が低め。病気や害虫の発生による被害が心配。

にんじん / かぼちゃ



(左)にんじん。(右)かぼちゃ(えびす)。実の直径は大きいもので10cm程度。長雨の影響で着果率が悪く減収が予想される。
(09.8.5撮影)